

測志会だより

発行者 測 志 会
〒546-0023 大阪市東住吉区矢田1-5-9
近畿測量専門学校内
TEL : 06-6607-5650
FAX : 06-6607-8830
<http://www.kinsoku.ac.jp/sokushikai/>
Mail: sokushikai@kinsoku.ac.jp



期待と不安

副会長 大向 庄太郎

今年、測志会総会は30回目を迎えるとしております。学校においては川端良和先生(測志会事務局)が還暦を迎えられましたが、引き続き熱心に教育に取り組んでいただいております。

まず期待ですが、自民党が復権し、安倍政権のアドバンクス効果と、機動的な財政出動、民間投資を喚起する成長戦略を「3本の矢」とする経済政策です。例えば、日銀の金融緩和、公共事業の発注増等でデフレから脱却すべく景気回復の雰囲気をかもしだしてまいります。また具体的には動いていないのにかかわらず、株価上昇や円安になっております。測量業界においても、震災復興関連は好調のようですが、役所からの発注増、不動産の取引等で業務増大を期待したいと思っております。

次に不安といえれば地震です。昔から「地震、カミナリ、火事、おやじ」と言われていたことが、まさにそうだと思います。未曽有といわれた阪神淡路大震災より18年、東日本大震災より2年経ちました。また本年4月13日には、淡路島震源のM6.3の地震が発生し、自然の脅威を改めて痛感しました。いつどこで何が起こるか誰にもわかりません。日頃の備えが肝要ではないでしょうか。

一昨年3月、仙台(釜石)で津波の被害箇所はまるで昔からの荒れ地のように見えた。と、その土地の登記状況はどうだったのでしょうか。

公共用地(特に道路)については、境界位置の国家座標化が進められていることはご存知かと思っております。民間で土地を所有されている方々は、日頃から所有地の管理(境界標設置等)しつつ、例えば登記(国家座標)の地積測量図で第三者に公開)をされている位置がほぼ特定できるかと思われまますので、再度ご確認いただければと思います。

最後にになりましたが、これからの測志会の発展のために皆様のご助言・指導をお願い致します。また測志会として、総会開催の他に、各地域の住まいや職場の方々の、身近な情報・意見交換の場にご参加いただき、ご協力をお願いいたします。



思い出す瞬間

校長 濱口 栄

近畿測量専門学校での学生指導歴が今年で35年目の山田一弘先生との雑談。

「学生が熱中しすぎてアタマがぐちゃぐちゃのシーンは、なぜか毎年、同じようなことが起こるんですよ」

「例えば、大和川での水準測量実習。標石に標尺を置いて観測するのはありえないのに、毎年2、3人はそれをすることばかりが気になって、石も台もごっちゃになって、なぜか毎年数人いるんですけど、(笑)」

「距離測定において斜距離を測らなければいけないのに水

平距離を測る人も毎年います。いくら注意してもいるんです。これは、最終の計算をしないと、水平か斜距離かがわからないので厄介ですな(笑)」

「いくらか薄くなった頭を掻きあげながら山田先生は思ひ出すように上を向く。いくつかの失敗談ではあるが、彼の瞳は優しさに輝いている。

「大きなミスは器械の転倒。法面上で観測中に人間が滑り、器械も同じよう滑っていき、最悪です。実習で遠くから見ていて滑り始めると、こっちは『オーイ!』と声を出すんです。特に雨上がりが多いので、怖いですが、大丈夫か?と学生のカラダを心配しつつ、

「スゴイ学生がいましたよ。器械を抱えて転がった学生がいました。もちろん、器械は無事。これは褒めました。成績はイマイチでしたが、肝心の部分はしっかりとしていました。こういう学生が社会で先輩にかわいがられるのでしようね。」

「口元が緩む山田先生の顔に、その時の学生の名前が書かれていたように見えた。天気は左右される仕事なんですよ。急に雨が降り出すと現場は大騒ぎ。昔は少々の雨でもできなかったのですが、今は電子機器な



シビルエンジニアリングの使命

助教授 石井 裕介

入梅の候、測志会会員のみなさまにはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、学校運営に際し、多大なるご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

近畿測量専門学校がこれまで六七〇〇名を超える卒業生を輩出していることは、伝統と実績を語るにふさわしいと感じております。勉学に励む在校生たちにも、将来の活躍を期待してやみません。

さて、私と学校との関わりは、平成17年4月、大阪市立大学大学院工学研究科土木工学専攻後期博士課程在籍時に土木工学概論を担当する非常勤講師として着任したことに始まります。講師着任前、どのような授業をするかと質問されました。土木といえばどうも「3K」の印象がぬぐえませんが、土木工学専攻といえども計画系の研究室に在籍していた私は、そのような印象をぶつ壊すことを展開したい、と答えました。を覚えていただきます。測量学校が故に、複雑な力学計算を解くのではなく、土木技術が必要な理由とその活用事例を計画

ここで、やっぱり器械が気になるようです。卒業生の顔を思い出しながらあの人はどうして出ますか?と質問をする。

「学生の頃はよくさぼっていた彼ですが頑張っていますよ。よく休み、どうしようも無い学生時代でしたが、社会に出てからは仕事を休まず、会社で認められている。そのうち自任に任されるようになって、自信が付き、良いスパイラルで上がっていく。」

「社会に出ると、変わるんですよ。最初から気負いが無い。鈍臭いけど一からコツコツとやる。これは学生時代と社会とのギャップです。会社で一つ一わかっていく楽しみを掴んだのかもしれない。苦勞をかけた学生ほど、よく覚えていた学生ほど、よ

活に必要な不可欠な技術であり、測量技術は、その基礎的な位置づけにあり、続けること感してやみません。これも運命の仕事として、これからも土木工学の位置づけと魅力を伝えたいと考えております。

最後になりましたが、引き続きご高配を賜りますようお願い申し上げます。測志会会員のみなさまのますますのご発展とご多幸をお祈り申し上げます。

研修旅行

母校では、6月3日「測量の日」を記念して、毎年、研修旅行を実施しています。今年も、日本経緯度原点や霊岸島水位観測所など東京都内の測量スポットをめぐる予定です。日本水準原点では、国土地理院関東地方測量部のご協力により原点庫内にある水晶板を見ることができました。



平成24年度 会計報告

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	¥3,982,981	通信費	¥333,109
終身会費	¥940,000	事業費	¥1,017,260
総会寄付	¥155,000	事務費	¥9,744
会報寄付	¥204,010	会合費	¥52,910
懇親会費	¥328,000	慶弔費	¥261,580
雑収入	¥1,124	次年度繰越金	¥3,936,512
合計	¥5,611,115	合計	¥5,611,115

第30回 測志会 総会・懇親会のご案内

日時：平成25年 6月29日(土) 17時30分から
場所：ホテル大阪ベイタワー 4階「金枝の間」
(地下鉄中央線・JR 弁天町駅直結)

懇親会費：平成19年度以前の卒業生 5,000円
※近畿外在住 3,000円
平成20~24年度の卒業生 3,000円
在校生 2,000円
(当日、会場受付でお支払いください)

同期生お誘い合わせの上、多数ご参加ください

ニコン・トリンプル社トータルステーション、GPS、ソフトウェアの販売・サポート・メンテナンス

Sシリーズエントリーモデル **Trimble S3 新発売!!**

Trimble S6 シリーズ **Auto Focus VISION**

3D レーザーキーナ **Trimble TX5 新登場!!**

現場を映し出す "VISION" が、測量を変える!!

マニュアルトータルステーション **Trimble M3 シリーズ DR2 DR5**

マニアルトータルステーション **Trimble GNSS R10 / NetR9 新発売!!**

自動視準・自動追尾機能を搭載!!
オートフォーカス機能標準搭載!!

株式会社 **テクノ・アイ・システム**
〒562-0035 大阪府箕面市船場東1-2-20 ウォールマンビル6F
TEL : 072 (729) 2690 (代) FAX : 072 (729) 2695
<http://www.e-tis.co.jp>

株式会社 テクノ・アイ・システムは、ニコン・トリンプル社、正規販売代理店・修理認定店です。

即戦力となる技術者を1年で育成
測量専門学科 (1年制)

次世代の地理空間情報技術者を育成
情報測量学科 (2年制)

A O 推薦選考は9月30日まで
卒業生推薦選考は3月31日まで受付

KINSOKU
国土交通大臣登録校/測量士・測量士補国家試験免除
学校法人 **近畿測量専門学校**